

令和7年度 事業所における自己評価（集計結果）

ピリブ  
野幌  
児童発達支援

公表：2026年 2月 14日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	92%	8%	0%	・適切だと思う	
	② 職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	・児童の特性や障害によっては個別対応できるように多く配置していることもある	
	③ 事業所は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている	100%	0%	0%	・毎日室内の消毒、換気実施 ・使用した玩具類等も毎日消毒実施 ・年2回大掃除している	
	④ 事業所は、子どもの活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	・児童の活動に合わせた空間作りを意識している	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	・全スタッフが見やすい位置に個別支援計画書が入ったファイルがあるので支援対応方法や目標が解りやすい	
	⑥ 保護者向け評価を活用することによりアンケート調査を実施し保護者の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	・アンケート集計は会議等で全スタッフに共有し、必要に応じて業務改善につなげている	
	⑦ 評価（事業所・保護者）の結果を、事業所のお便りやホームページ等で公開している	100%	0%	0%	・ホームページに公開している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	38%	15%	47%		・検討中
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	・月1回の学習会のほかに外部及びオンライン研修を取り入れている（※内容により、児発管のみ/社員のみ/全スタッフ）	
適切な支援の内容	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	・年2回の保護者面談でプラン作成 ・その他必要に応じて相談にのったりアドバイスをしている	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%	・半年に1回アセスメント実施（※状況によっては短期間で行う場合もあり）	
	⑫ 児童発達支援計画には、発達・家族・地域支援の中で必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が記載されている	100%	0%	0%	・項目に分類し具体的な支援内容まで記載している	
	⑬ 児童発達支援計画に沿って支援が行われている	100%	0%	0%	・個々の課題ファイルに個別支援計画書を入れているので、いつでも閲覧でき支援や対応がしやすい状態にしている	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	・全スタッフが毎回考えている	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫している	100%	0%	0%	・工作、調理、外出、ゲーム、アート、イベント等を含め色々と考えて計画及び実施している	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%	・毎回個別と集団活動で取り入れている	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	・毎朝朝礼にて1日の確認（送迎担当、当日の利用児童の再確認、当日の支援内容等の確認）をしている ・朝礼はしているが、役割分担はその時々で臨機応変に対応している	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有している	100%	0%	0%	・必要に応じて情報共有している ・最後に引き継ぎをしている ・日々全体LINEにて情報共有にして周知している	・個人的に共有すべき部分を見落とすことがあるので的確な判断ができるようにしたい
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	・ケース会議に記入してパソコンにて保存 ・検証が必要な時、会議にて議題として出し支援方法の提案や話し合いを実施している	
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	・3か月～6か月に1回見直しをしている		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた 改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画している	100%	0%	0%	・毎回、児発管が出席している ・状況によっては、主任等も同席している	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	0%	・必要に応じて子育て支援課、子ども家庭課担当者と連携（会議や電話での情報共有等）	
	㉒	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園等との間で情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%	・個別支援計画書を保護者、もしくは事業所より渡している ・児童送迎時、担任と情報共有や引継ぎ等を行っている	・非協力的な園もあり、連携を図りたくても図れないケースもある
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%	・個別支援計画書を保護者、もしくは事業所より渡している	・秘境的な学校の場合は、連携を図るのが難しい時がある
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%	・発達支援センターや相談員との連携、ケース会議の実施 ・発達支援センター主催の研修にも毎回参加している	・児童が来書している時間の研修は、参加したくても参加できない場合がある
	㉕	（自立支援）協議会、子ども部会等積極的に参加している	100%	0%	0%	・子ども部会（2か月に1回）と部会の中の有志の会（年3回）に参加 ・自立支援協議会にもテーマにより参加	
	㉖	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	100%	0%	0%	・連絡帳に細かく記載したり、送り時に細かく伝えている ・日頃から必要に応じて保護者とLINEでのやり取りや共有を図っている	
保護者への説明責任等	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	100%	0%	0%	・必要なご家庭には個別で対応し助言している	
	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	・契約時に細かく説明している	
	㉙	『児童発達支援計画』を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%	・細かく説明し、了承のうえ署名してもらっている	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	・連絡帳、LINE、☎、その他自宅訪問や事業所訪問してもらい相談対応している ・24時間☎、LINEにて相談対応している	
	㉛	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15%	23%	62%	・Xmasコンサートでは保護者の参加もあり顔を合わせる機会があった ・父母会に必要な署名等は協力している	・保護者懇親会等検討中
	㉜	子どもや保護者からの相談について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	・子供や保護者それぞれからの相談や悩みについては個別で対応し傾聴したうえでアドバイスしたり仲介し入り互いの気持ちや考えを伝え親子関係の修復にも対応をしている	
	㉝	定期的にお便り等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信している	100%	0%	0%	・月1回のお便り発行（月間予定、子どもの様子や活動の様子の写真掲載、保護者へのお願ひ等も記載） ・行事ごとに詳細記載した案内を配布	
	㉞	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	・個別ファイルは鍵付きロッカーにて保管している	
	㉟	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	・イラスト提示やホワイトボードの活用、ジェスチャーでの伝達や選択肢の提案、保護者には簡易書きで見やすくLINEでのやり取り等の配慮をしている	
	㊱	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知している	100%	0%	0%	・いつでも見られるように事業所内にかけている	
非常時等の対応	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	・月1回事業内で実施（地震、火災交互に実施し記録） ・年2回建物全体の避難訓練実施	
	㊳	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認している	100%	0%	0%	・てんかんマニュアルは見える位置に掲示 ・服薬やてんかん発作の有無は確認しているが予防接種までは確認できていない	
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	・年1回事業所内で外部講師による研修を実施	
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	・おやつケースにアレルギー児童の詳細を記載したメモを貼りスタッフ内で情報共有	・保護者からの情報のみなので、必要に応じて医師からの指示書も頂きたいと思う
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	92%	8%	0%	・学習会にて勉強している	・必要に応じて作成していきたい ・全スタッフが共有できるよう徹底する
	㊷						

〇この『事業所における自己評価結果』は事業所全体で行った評価です。